

# 第36回東海高等学校バスケットボール新人大会

## 女子決勝

試合日 2023年2月12日  
会場 エコパアリーナ  
コート Aコート  
開始時間 13:10

TEAM A		TEAM B
岐阜女子 (岐阜)	69	78 桜花学園 (愛知)
	12 - 29	
	11 - 18	
	19 - 16	
	27 - 15	
	OT	

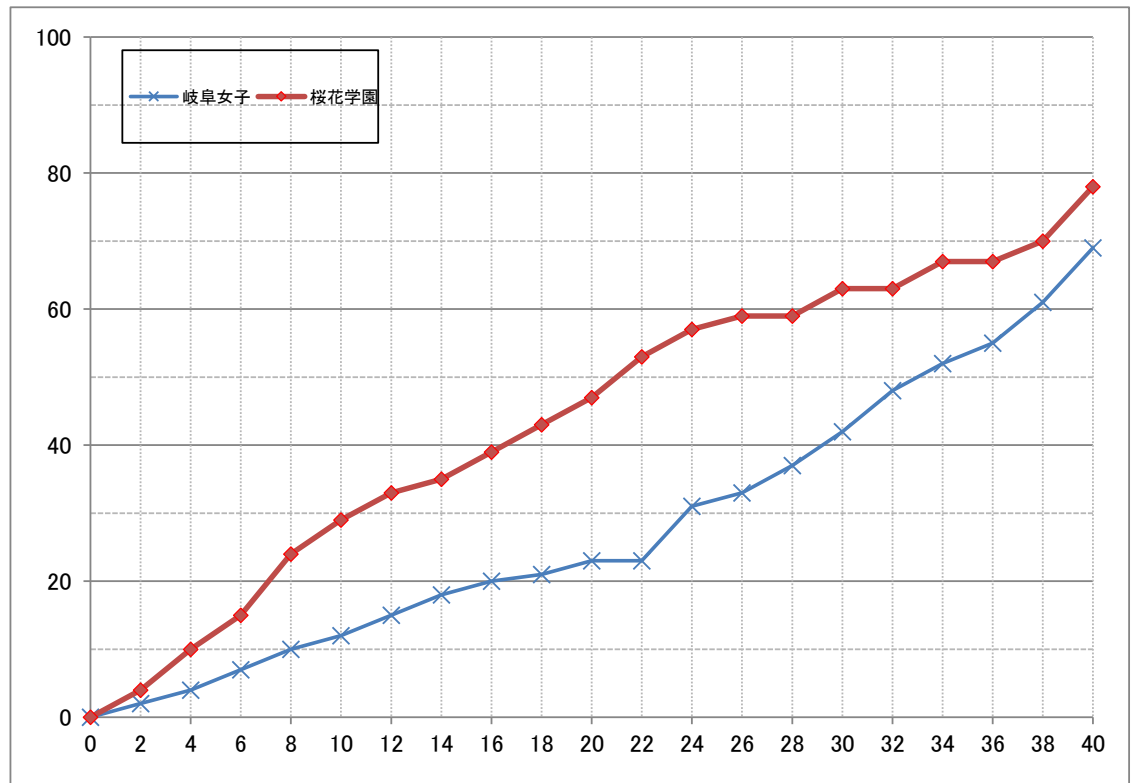
### TEAM A 岐阜女子 (岐阜)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	紺野夏海	36	5	8	5	0
5	*	原田倫	0	0	0	0	1
6	*	林琴美	2	0	1	0	0
7	*	平山真穂	3	0	1	1	3
8	*	ジュフ ハディジャトゥ	7	0	3	1	5
9	DNP	吉井彩乃	0	0	0	0	0
10		柴田緑	12	0	5	2	2
11		高桑利加	0	0	0	0	0
12		安藤美優	9	3	0	0	1
13		古田桃海	0	0	0	0	0
14	DNP	荒谷羽音	0	0	0	0	0
15		久下寧々	0	0	0	0	0
16	DNP	世森びわ	0	0	0	0	0
18	DNP	竹内悠	0	0	0	0	0
19	DNP	津村優月	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			69	8	18	9	12

### TEAM B 桜花学園 (愛知)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	田中ころ	16	4	2	0	1
5	*	黒川心音	6	0	3	0	2
6	*	松本加恋	14	1	5	1	5
7		東小姫	7	0	2	3	5
8	*	福王侖奈	16	0	7	2	1
9		菅原ことほ	0	0	0	0	0
10		齋田夢良	0	0	0	0	0
11	DNP	山田英真	0	0	0	0	0
12	DNP	白石弥桜	0	0	0	0	0
13	DNP	阿部心愛	0	0	0	0	0
14	DNP	三國ソフィアエブス	0	0	0	0	0
15	*	深津唯生	19	0	7	5	3
16	DNP	オサトアリシア 藍依	0	0	0	0	0
17	DNP	角田絆奈	0	0	0	0	0
18	DNP	三間萌	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			78	5	26	11	17

## 【得点経過】



## 【戦評】

1Q  
決勝は、岐阜県1位の岐阜女子と愛知県1位桜花学園の戦い。両者マンツーマンでスタート。先制は桜花学園の#15深津がジャンパーを決め、#6松本のスティールからレイアップを沈める。岐阜女子はスクリーンプレーから#4紺野のドライブが決まるが、桜花学園の粘りのあるディフェンスを前にリズムに乗れない。桜花学園は、インサイドの#8福王や#15深津を中心に攻め得点しリードする。岐阜女子も#4紺野が連続で3Pを沈めるが、桜花学園#4田中や#6松本が3Pを3連続で決め返し、リードを保つ。残り16秒から桜花学園#4田中の個人技で3Pを沈め、17点リードで1Q終了。

2Q  
開始早々桜花学園#5黒川がレイアップ、#8福王がゴール下で粘り、リードを広げる。岐阜女子も#4紺野が1対1から連続得点し付けていく。お互い気持ちのこもったディフェンスを展開し、簡単に得点させない。岐阜女子#8ハディジャトゥがジャンパーを決めれば、桜花学園#6松本が決め返す。その後は桜花学園#4田中を中心に攻撃を組み立て、#5黒川から#8福王へ絶妙なパスから得点し、#6松本や#15深津の個人技でリードをさらに広げていく。岐阜女子も果敢に#4紺野が攻めるが難しいシュートが増えてしまう。47-23で桜花学園リード。

3Q  
桜花学園#4田中がスティールから得点、#6松本のジャンパー、#5黒川から#15深津の合わせで得点し、一気にリードを広げる。一方岐阜女子は#4紺野が得点し、すぐさまオールコートディフェンスを仕掛け、プレッシャーを強めていく。すると、桜花学園のミスから岐阜女子のリズムができ始め、岐阜女子#12安藤が3Pを連続で沈める。桜花学園は相手の激しいディフェンスに苦しみ、気持ちよくプレーができない。それでも、#15深津のリバウンドシュートで得点する。岐阜女子の流れは続き、#6林のドライブ、#10柴田の連続ジャンパーで一気に点差を縮める。63-42で3Q終了。

4Q  
4Qも岐阜女子の激しいディフェンスを前に桜花学園が連続でミスが出る。そのミスか#10柴田や#4紺野が決める。しかし、岐阜女子にもミスが出て我慢の時間帯。一方桜花学園は#4田中が3Pを決めるが、あとが続かない。残り7分を切ったところで、岐阜女子#8ハディジャトゥや#4紺野が連続で決め、15点差まで詰める。その後は両者、粘りのディフェンスで得点を許さない。残り4分岐阜女子は、リズムの良いオフェンスから、#12安藤が3P、#8ハディジャトゥのジャンパーが決まり、10点差に。すぐさま、桜花学園#10齋田のアシストから#7東が決め返す。岐阜女子も#10柴田の個人技で得点し、点差が一桁に。しかし、プレッシャーをかけてくる岐阜女子に対し、落ちてはパスを回し、最後は#8福王が得点し、11点差に。残り1分岐阜女子タイムアウト。直後岐阜女子#4紺野が3Pを決め8点差に。さらに、桜花学園にパスミスが出る。しかし、桜花学園は相手にミスが出て連攻に。#4田中のレイアップがこぼれたのをすかさず#8福王が拾って加点。岐阜女子は、再び#4紺野が3Pを沈め7点差に。残り16秒で桜花学園タイムアウト。最後は桜花学園#8福王が落ちてはシュートを決めタイムアップ。大きく開いた点差から、7点差まで詰めた岐阜女子の気迫のこもったプレーはとも素晴らした。勝利した桜花学園もさすがの戦いであった。